

会議状況等報告書

会議の名称	第2回大府市緑化推進委員会
日 時	令和8年9月16日(水)9時30分～
場 所	大府市役所 5階 委員会室I
出席者	樋口委員長、水谷副委員長、服部委員、只井委員、深谷委員、本田委員、島田委員
	鈴置課長、保坂係長、山田主任、東松主任、今村技師、鈴木主事

1. あいさつ

樋口委員長あいさつ

2. 議題

(1) 大府市緑の基本計画の実施状況について【資料1】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委 員) 民間開発における公園緑地の整備について事業者へ指導とあるが、進捗状況はどうか。また、追分いどり公園は防災公園としてどのような機能を持たせたのか。

事務局) 民間の宅地開発で公園やポケットパークが増えているが、昨年度は新設された公園等はない。防災公園という位置付けの公園は今のところない。防災設備は、学校や公民館に設置されている防災倉庫の資材で対応する方針となっている。

委員長) そうなると、追分いどり公園は防災公園としての機能を持っていないのか。

事務局) 当初は防災公園としての設備を検討していたが、危機管理課と調整した結果、今回はマンホールトイレ等の設備は設置しなかった。

委 員) 今後、新たな公園を整備する際に防災公園としての機能を持たせるのか。

事務局) ハツ屋大池公園には、整備のワークショップの際に防災設備としてマンホールトイレやかまどベンチの設置が提案されたため、設置した。小学校や公民館が避難場所として想定されている中で、公園に防災機能を持たせた方がよいかは、危機管理課と協議して検討したい。

委員長) 危機管理課の防災計画における公園の位置付けが関わってくるため、一度整理してもらい、情報提供してもらいたい。ただし、ワークショップで挙げられた意見を反映して防災設備を設置することも大事だと考えられるので、公園管理としてどのような方向性を取るか整理してもらいたい。

委 員) 大府市は公園が充実しており、良いと感じている。大府みどり公園は隣に星名池があり、スイレンが咲いている時期もあって、子どもの自然学習に適していると感じた。

委員長) 大府市の緑化施策を他市町の施策と比べると、客観的に評価できるようになると、大府市の良いところ、改善が必要なところが分かってよいのではないかと。

委 員) セレトナの施設の位置付けが自然体験学習施設から環境学習施設に変わった。ただ、緑の基本計画の施策は変わっていない。今後どのように考えているか。

事務局) セレトナの所管課は確かに変わったが、ニツ池公園内にある施設であることに変わりはない。次回の緑の基本計画の改訂で見直しをするが、現行の間は自然と環境を学ぶ場所として、今後も施策への協力を継続してもらいたい。

委員長) セレトナでは今後も自然観察会やフジバカマ関連の取組は行っていくのか。

委 員) ゼロカーボン推進課と調整しながら、今後も継続する予定である。

委 員) シビックガーデン写真展の参加状況をどう考えているか。これまでよりも敷居を下げる取組として写真展にしたはずだが、思ったよりも参加者が伸びなかったと感じている。

事務局) 応募件数に関しては、初回ということで前年度のコンテストと比べ少ないという結果だった。広報等の活用も含め利用して呼びかけたが、市民に認知が広がらなかったと感じている。今後も認知が広がるよう取り組んでいきたい。

○議題「大府市緑の基本計画の実施状況」の内容について承認。

(2) 次年度の取組について

①次年度のシビックガーデン写真展について【資料2】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員長) 現状の応募作品を見せてもらうことはできるか。

事務局) ---【追加資料として応募写真を披露】---

委員) 参加者の年齢等は把握しているか。

事務局) 今回の応募フォームでは年齢は記入要件になかったので、把握していない。

委員) 対象作品は道路から見える自身が管理する花壇だったはずだが、見せてもらった応募作品を見るとプランターも多くあった。プランターも対象作品にするのか。

事務局) 広く募集したいため、対象としている。

委員) 写真が花を拡大したものがあつた。背景を含めた全体が写っている状態の方が、「この情景の中で花を植えて楽しんでいる」ということが伝わるので写真のアングルを指示してもよいのではないか。またその人の花に対する思いをコメントとして展示できないか。

事務局) 写真に対するコメントは今回の応募フォームにあり、コメントを記載している作品もある。展示スペースを見ながら掲載を検討している。

委員) 募集チラシに応募写真の例を掲載した方がよかったと感じた。

委員) これまではコンテストで現地審査があり、応募した人から直接話を聞いて思いが伝わった。写真展でもそれが反映できるとよい。

委員長) 事務局としては多くの応募を募りたいと考えていたはずだが、申込者の中には、鉢に植えた花がきれいに咲いたから写真を撮った人もいれば、庭でたくさんの花を咲かせることができたから写真を撮った人もいるはずなので、いくつか部門を設けてもよいのではないか。

委員) 応募の周知を公民館やこども幸齢者交流センター、高校にも依頼し、SNSも利用して幅広くPRしてもらいたい。

委員長) 応募写真の季節は問わないとのことだが、今後どう周知していくか。

事務局) 写真展応募のホームページに次の応募期間を掲載するなど、応募する人が準備しやすい案内に努めたい。

委員) 今回の寄植え講座はどれぐらいの参加者がいるか。

事務局) 1つの応募に対して1人の参加としている。現在24名の応募があるため、寄植え講座の参加者は24人であるが、提案型緑花推進事業の方が参加する可能性がある。

委員) 次年度の応募は、小学校や中学校など学校での応募は認められるか。学校でも環境部が学校の花壇にきれいに花を植えている。

事務局) 今回、学校に作品応募の案内を配布した際は、各家庭からの応募を想定していた。学校で作品に応募してもらえたら活動の広がりとしてはよいと考えている。ただ、学校で応募があつた場合、応募特典の寄植え講座をどう扱うか等、検討する。

②提案型緑花推進事業の見直しについて【資料3】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 課題で挙げられているとおり、初めての人が活動の場所を見つけるのが難しいと感じている。また、歩道にある植栽を整備したいと考えても、どこに問い合わせるとどんな制度が利用できるかが分かりにくい。情報が見つけやすいと、新規参入のハードルが下がるのではないか。

事務局) ホームページ等で、活動ができる場所の具体例を挙げて分かりやすくなるよう検討する。問い合わせ先

の周知についても検討していく。

委員) 空き家バンクのように、ホームページで花壇バンクを掲載し整備に協力してほしい場所が分かるとよいのではないか。

事務局) 人が多く通行する場所など、市としても特にきれいにしていきたい箇所もあるので、そういった箇所を例として紹介するなど検討していきたい。

委員) 市役所のホームページの検索が難しい。検索でうまく見つけられるように工夫してほしい。

委員) 部署が違うかもしれないが、他の自治体では生涯学習制度として講師の登録制度がある。緑花に興味がある人が講師を見つけて連絡が取れるようになっている。大府市でも似た制度があれば、緑花活動がより広がるのではないか。

委員長) 市役所の思い描いている目標と、市民が受け取る取組みに差があるように感じた。提案型緑花事業という名称が敷居を高くしているのかもしれない。シビックガーデン写真展と連携するなら、シビックガーデンプロジェクトという名前にするなど、施策をイメージしやすくすることも必要かもしれない。また、上級団体の活動がかなり大きくなっているので、活動自体を再評価していただいて、再配置をしていくことも大事だと感じている。

③花いっぱい運動の冬期の花苗配布について【資料４】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) ハボタンは正月の花として好評だと感じていたので、なくなるのは残念だ。

委員長) ハボタンだけ栽培できる農家を募集したりはできないか。

委員) 今まで植えていたハボタンはかなり大きい品種だった。ハボタンはさまざまな品種があり、小さいものもあるため、変えることもできるのではないか。

委員) ハボタンの継続が難しいなら、12月にパンジー、デージー、2月はプリムラジュリアンという品種があるため、変更してもよいのではないか。

事務局) 栽培農家と相談して検討したい。

委員) 栽培農家はハボタンの生産が難しいが、他の時期の花苗は生産可能なのか。

事務局) 他の季節の花はこれまでどおり生産可能とのことである。

3. 報告事項

(1) 追分いろどり(北山1号)公園の整備について【資料5】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 完成後の保守については考えているか。

事務局) 他の公園と同様に遊具の点検や、委託による除草や樹木剪定を実施する。

委員長) 地域住民と公園の維持管理を行っていく考えはあるか。

事務局) 市としては、市民から維持管理を行う希望があればお願いしたいが、なかなかそのような声がないのが現状だ。

委員) 先ほどの提案型緑花事業が勧められるとよいのではないか。

(2) 横根平子1号公園の整備について【資料6】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員長) 追分いろどり公園と横根平子1号公園では、インクルーシブ遊具の有無など、同時期に整備しているにしても特色に違いがあるが、どのような経緯でこうなったか。

事務局) ワークショップをする際、地域状況や地形等を考慮して公園の施設を検討している。横根平子1号公園は園内に高低差があり、それを活かした遊具配置の提案を採用したため、違いが生まれたと考えている。

(3) 大府みどり公園駐車場整備について【資料7】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 拡張した駐車台数は、何か統計等を取って数を決めたのか。工事の範囲次第では、もう少し駐車台数が

増やせるように感じた。また、調整池を駐車場に整備した方は、雨天時は利用できないと考えてよいか。
事務局) 拡張工事については、用地の関係や樹木の現状等を踏まえ、工事内容を精査した結果この形になった。

調整池の中の駐車場は、お見込みのとおり雨天時は利用不可とする。

委員長) 他の駐車場と同様に、時間帯で開閉の管理はするのか。

事務局) 調整池の中の駐車場については、臨時駐車場として繁忙期のみの利用を考えている。

(4) 狐山公園の改修工事について【資料8】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 駐車場の運用は検討されているか。

事務局) 公園専用の駐車場はないが、おもちゃ美術館としての駐車場は整備している。

(5) 矢戸川緑地の維持管理について【資料9】

事務局) ---【資料に基づき説明】---

委員) 矢戸川緑地のような緑地整備を他の地域も行う予定はあるか。

事務局) 今のところはない。

委員長) 大府市内の竹林の所有者に講座に来てもらうような連携はできるか。

事務局) 今回、講座の講師に市内で他の竹林を管理している人を招いた。市内の竹林所有者と連携はしていないが、参加者の中には自分の竹林整備の参考にするため参加したと話した人もいた。

委員長) 桜守の取組のように市民の間で取組が広がり、竹林の管理をしている人同士がつながっていくとよいと考えている。

委員) 長草町で地域の放置竹林を整備していると聞いている。

事務局) その場所はこちらでも把握している。今回の講座が、そうした団体が増えるきっかけの一つになればと考えている。

4. 第3回緑化推進委員会について

- ・ 次回の会議は2月17日実施予定